

第1分科会(地方創生・地域コミュニティ・市民活動・行財政改革)意見

■高齢者

- ・お祭でも高齢者ばかり、子育て世代を引っ張り込むことが必要。
- ・昼間家にいるお年寄りが、外に出て子どもと関わると良い。
- ・お年寄りが、子どもの登校時に一緒に出掛けて福祉施設で交流する、下校時に子どもと一緒に帰宅するという提案がある。
- ・高齢者が多いが、子どもは少ない。民生委員もお年寄りと一緒に活動したいと言っている。
- ・父母は仕事で昼間いない。祖父母が子どもと接する機会がない。
- ・お年寄りが買い物に行けない。

■若い世代を呼び込みたい

- ・若い世代を呼びたいという意見があるが、高齢者を大事にするのか、若い人に対する魅力のアップをするのかの方向性が課題。

■子育て

- ・子育て関係の意見が70個。子育てが重要というのがわかる。(特に子育て世代)
- ・子育てが重要。子育てに対する予算のかけ方が少ないのでは。
- ・学校に魅力がある。ハード面は古く、通学路は不便ではあるが、学力は高い。
- ・平野では、小中一環教育を行っている。平野の学区内に入りたいという希望者が多い。

第1分科会(地方創生・地域コミュニティ・市民活動・行財政改革)意見

■情報発信

- ・現在、紙ベースでの情報取得がメイン。しかし、10年、20年後を考えると、ホームページか。
- ・市の情報をもっと配信していく努力が必要だろう。(例えば、メールを使って予防接種の案内をする等)

■自治会

- ・自治会以外に広報の配布が無いのは問題。
- ・自治会に入っていないが不便ではない。
- ・積極的な人は、情報をきちんと収集できている。

■財政関連

- ・税金を効率よくという意見があるが、市役所の皆さんは一生懸命やっている。
- ・蓮田は財政が厳しいと思われる。少ない器の中で質の向上を図る。あまり広げすぎない。
- ・税の公平化は難しいのでは。
- ・行財政改革：効率的に税金を使ってほしい。行政は単年度会計なので、原則次年度に回せない。
⇒次年度に自由に繰り越せると、必要なものが購入できるようになる。
- ・地区計画を見直す必要がある。⇒企業が入りやすくなる。家を建てやすくなる。

第1分科会(地方創生・地域コミュニティ・市民活動・行財政改革)意見

■活性化

- ・お祭り、イベント:以前は、子どもがたくさんいたので賑わったが、今は減ってしまったので賑わいがなくなったという背景がある。
- ・実際には、そば祭りなどイベントは増えている。参加しないで、文句を言っていると思う。

■市民の参加

- ・アンケートの結果に「わからない」という回答が多い。
- ・「わからない」と言っている人をどのように巻き込むかが課題では。
- ・市に将来性がないという意見があるが、参加するような意識がない。
- ・アンケートの自由意見を見ると、若手の意見が少ない。(参加意識が低い)

■その他

- ・市外に移りたいという意見があるが、市外(白岡市など)の何が良いかわからない。
- ・蓮田の定住希望者が多い。
- ・定住したくない人の理由から ⇒ 基盤整備、生活環境の改善が必要では。
- ・ゴミ袋が高いという意見があるが、これは自治体が小さいから。ごみが少なくなればよいのでは。
- ・バスの本数が少ないという意見が多い。